世界のSNS法規制を語るBoF リターンズ

ももいやすなり (株式会社インターネットイニシアティブ)
水越一郎 (NTT東日本)

2025/7/31 JANOG56 BoF

自己紹介

ももいやすなり Facebook/GitHub ymomoi, Twitter @sbg

株式会社インターネットイニシアティブ

ネットワークサービス事業本部

セキュリティ本部 セキュリティ情報統括室 シニアエンジニア

1972年生まれ。1997年 神奈川大学大学院 理学研究科 情報科学専攻 修了。

大学〜大学院で、WIDE Projectでの活動を通じてインターネットにふれる。

1999年IIJ入社。セキュリティサービスを中心に、ネットワークシステム開発、運用システム開発、セキュリティサービス開発など。BSDや各種OSSなどの技術コミュニティ活動にも関わる。

2008年から、IIJグループの緊急対応チームIIJ-SECTメンバーとして、FIRST、日本セキュリティオペレーション事業者協議会(ISOG-J)、日本シーサート協議会(NCA)、ICT-ISAC JAPANなどの活動や運営に参加。

その他、InternetWeek、JANOGなどカンファレンスや大学での講演、雑誌記事執筆、監訳など。

ヘヴィメタルと猫が好き。ローカルなグルメを堪能しながらの街歩き、麻雀、歌が趣味。

インターネットの自由とは？

Impress Internet Watch x IIJ

INTERNET Watch

Impress Watch | INTERNET | PC | デジカメ | AKIBA | AV | 家電 | ケータイ | クラウド
窓の杜 | こどもとIT | Car | トラベル | グルメ | GAME | HOBBY | MANGA | ASUS Wi-Fiルーター

セキュリティ | ネット機器 | Wi-Fi 7 | ストレージ・NAS | AI | ビジネスソフト | 会計ソフト | テレ

INTERNET Watch 〉トピック 〉ネット基礎知識

掘り下げると長くなるネットの疑問

「『インターネットは自由だ』と言う人がいるけど、どこが自由なの？」～ネットの疑問をIIJに聞きました

松永 侑貴恵　2025年7月30日 06:50

ポスト | リスト | シェア | はてブ | note | LinkedIn

【今回の質問】

学校では、インターネットの利用に関して「●●してはダメ」と事細かに言われます。でも、家でネット関係の話題が出ると、父親はしばしば「インターネットは自由だ」と言います。なぜ、ダメなことばかりのインターネットが自由だと思えるのか全く想像がつかず、理由を聞いてみたこともありません。自由だと言う父親のような人は、どう考えているんでしょうか？

今回の回答者: 広報部 堂前清隆さん

広報部　技術統括部長
ウェブアプリケーションの開発やデータセンターの建設などを手掛けたのち、現在は広報部技術統括部長としてインターネット技術をIIJ公式ブログ「IIJ Engineers Blog」などで紹介しています。
X（旧Twitter）アカウントは@IIJ_doumae

「『インターネットは自由だ』と言う人がいるけど、どこが自由なの？」～ネットの疑問をIIJに聞きました
https://internet.watch.impress.co.jp/docs/column/horisage_qa/2031174.html

前回の振り返り

JANOG55: 世界のSNS事件と規制を語るBoF

京都ではありがとうございました

JANOG 55
Meeting in Kyoto 2025.1.22-24

世界のSNS事件と規制を語るBoF

水越一郎 (NTT東日本)
ももいやすなり (株式会社インターネットイニシアティブ)

2025/1/23 JANOG55 BoF

振り返り: インターネットとSNSの特性

これらの相乗効果で社会が変化している

- 通信とスマートフォンの普及
  - コミュニケーションの常態化、パーソナル化
- ハイパージャイアントとSNSの隆盛
  - フィルターバブル、エコーチェンバー、確証バイアス
- dis/mis/mal-information, fake news
  - AI、deepfake

振り返り: SNSの特性によっておきていること

メリットとデメリットは表裏一体

- 依存、中毒性
  - メンタルヘルスへの影響
- 意見や価値観の先鋭化/極化
- デジタルストーキング、ドキシング、サイバーケーシング
- コミュニケーションのパーソナル化
  - グルーミング

振り返り: SNSを規制する動機とは
大きくはこの3つなのでは？(水越)

- 子供(経験の浅い者)向けの悪意
- 本人がハマり込む
- (大衆を)外部から誘導する
  - 意図して誘導した、結果として誘導することになった
  - 個人〜国家によるものまで

本編

調査の動機(1)
はじまりはJANOGでのBoFでした

- オーストラリアで若年層に対するSNS規制が行われるニュースを目にした
  - 調べてみたら、他の国でも似た動きがあった
- 2025/1 JANOG55@京都でBoF開催
  - SNSなどを規制したくなる動機は何なのか？
  - 悪意に対して個人や事業者は何ができるのか？
  - 誘導と広告は何が違うのか？ 何を規制できるのか？ していいのか？

調査の動機(2)
NCA FamilySec WG

- 日本シーサート協議会 (NCA)
  - Annual Conferenceで家族のセキュリティを考えるパネルセッション x3
  - 個人と組織のセキュリティを考えるWG
- 若者、高齢者をターゲットにした犯罪などについて学ぶ
  - 闇バイトや特殊詐欺など多くの事案で、SNS的なものがツールの中心に
- プライベートの平和が組織でのセキュリティ対応には必要？

背景(1) アテンションエコノミー
ハイパージャイアントの誕生

- 広告やビッグデータを元にしたマネタイズ
- より多くのユーザとデータを持つことが競争上優位に
  - 巨大プラットフォーマー
  - あらゆる意味で影響力を持つように
- ユーザをより惹きつけるサービスやコンテンツの提供
  - 「スクリーンタイム」の奪い合い

背景(2) プラットフォームの仕組み
ユーザー体験を向上させる技術開発競争

- さまざまな手法のレコメンデーション
  - 集合知によるもの、パーソナライズされたものなど
- 投稿へのリアクション、気を引くためのリアルタイム通知
  - 報酬アルゴリズムによる行動強化
- ストレスを感じさせない自然なユーザインターフェース
  - 速度向上、A/Bテストなどによるユーザ反応の研究

背景(3) プラットフォームによる分断
技術開発競争の末？

- フィルターバブル、エコーチェンバー
  - ユーザの好みや行動によるコンテンツの提供
  - 同じ傾向の意見やコンテンツによる信念の強化と、異なる意見の排除
- プラットフォームへの依存を高める設計
  - 回帰を促す通知やフィード、無限スクロール
  - 承認欲求を高める報酬、ハイライト表示

背景(4) 偽情報、フェイクニュース
dis/mis/mal-information

- 情報が直接的な武器になる時代に
- 国家間の情報戦は以前からあった
  - 選挙への介入、世論工作、デマの拡散、煽動…
  - 大衆に影響を与える手段が増えている
- 情報流通の多様化、プライベート化
- AIの進化により先鋭化、言語の壁もなくなった

背景(5) 犯罪と青少年保護

民主主義、自由主義国家でも…

- 青少年へのSNS的な機能によるリスク
  - メンタルヘルスへの影響
  - いじめ、性被害、自殺など
  - 闇バイト、特殊詐欺など犯罪への巻き込み
- 日本だけではなく世界共通の課題

この記事は会員限定記事です　今月の閲覧：残り1本

子供のSNS、フランスでも禁止案　EUは「中毒性」排除へ新法検討

SNS　＋フォローする

2025年7月7日 11:00 [会員限定記事]

保存

Think!　多様な観点からニュースを考える　村上芽さん他1名の投稿

【パリ=辻隆史、シドニー=今橋瑠璃華】世界で子どものSNS利用を制限する動きが広がってきた。フランスのマクロン大統領が15歳未満のSNSの使用禁止に意欲を示し、欧州連合（EU）レベルでも新法による規制を検討する。偽情報対策などに加え、各国のデジタル政策論議の最前線のテーマとなっている。

「社会がどんどん暴力的に」

「私たちの社会がどんどん暴力的になっている」。マクロン氏は6月10日、仏国営テレビ…

調査方法

調査方法
検索し倒しました

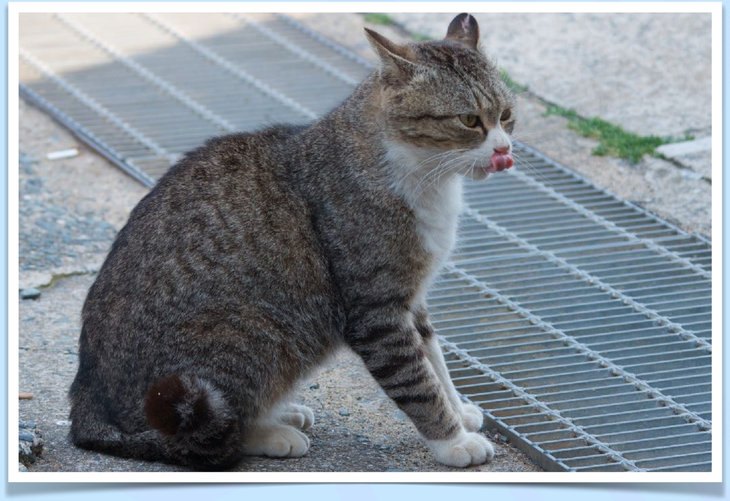
- 近年、各国で実施されたインターネット/SNS規制を調査
  - 調査レポート、個別の先行研究からも拡充、深堀り
- 周辺状況も含めた調査を実施
  - 発端となった事件、事例、社会的背景
  - 規制に対するステークホルダーの反応

調査結果

各国のSNS規制(1) オーストラリア
12月に向けて技術検証と議論の真っ最中

- 2024年「16歳未満SNS利用禁止」法案可決
  - 2025年12月までに施行予定、施行後2年で見直し
- 保護者の意向によらず全面禁止
- 違反プラットフォームに最大5,000万豪ドルの罰金
- 若者に精神疾患が増加
- アングラ化、年齢確認技術の課題、プライバシー保護の懸念

各国のSNS規制(2) フランス
EU全体での規制を働きかけ

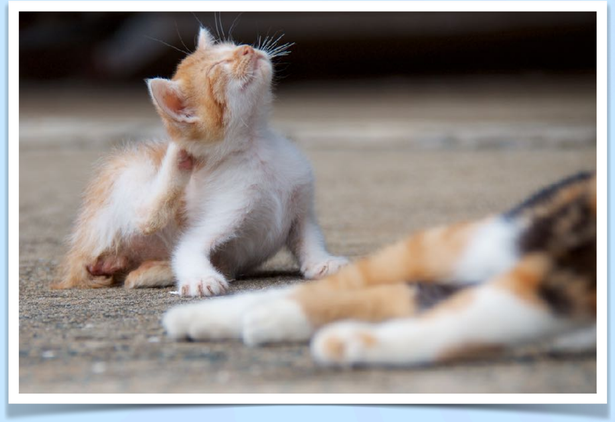


- 2023年制定、15歳未満のSNS利用に保護者同意必須
- プラットフォームによる年齢確認システム、親によるアカウント停止権、利用時間管理機能、サイバーハラスメント対策の義務など
- 違反プラットフォームに最大2,000万ユーロ or 世界年間売上高の4%
- 精神、健康、有害コンテンツに曝されるリスク増大
- 年齢確認、VPNによる規制回避などの技術的な課題、若者の情報アクセス権

各国のSNS規制(3) イギリス
有害コンテンツへの包括的な規制

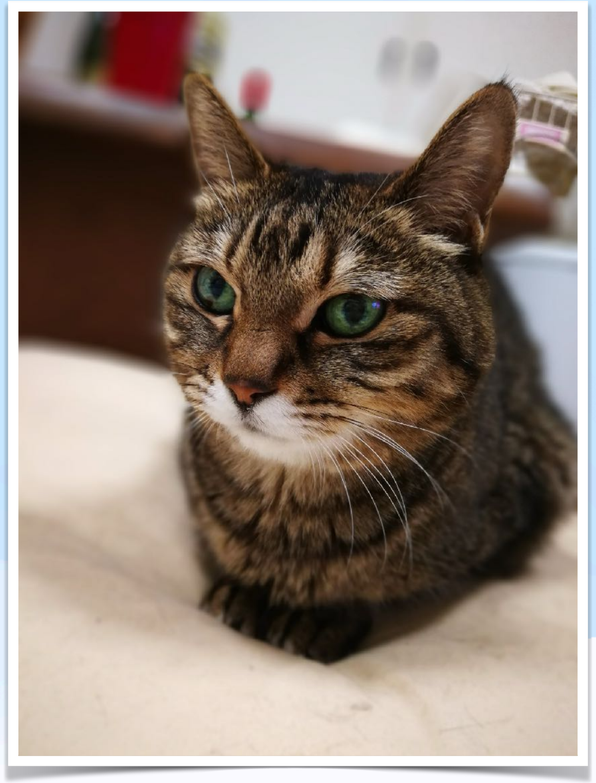
- 2023年「Online Safety Act 2023 (オンライン安全法)」成立、段階的施行
- オンラインサービス全般に有害コンテンツ規制
  - 子どもに対するリスク評価・安全措置義務
- 違反プラットフォームに最大1,800万ポンド or 世界年間売上高10%
- 有害コンテンツがこどもたちに与える深刻な影響
- 表現の自由やプライバシーへの過剰対応を懸念

各国のSNS規制(4) 米国ユタ州
差し止め後に修正して成立



- 2023年「オンライン安全法」成立、差し止め、2024年修正成立
- 18歳未満のSNS利用に規制(保護者同意、夜間禁止、中毒性機能の制限など)
  - 年齢確認の義務付け、ペアレンタルコントロールツール提供
- 違反1件につき$2,500、被害を受けたこどもに対して$2,500
- 若者のメンタルヘルスの悪化、自傷行為、自殺の増加
- 表現の自由や情報アクセス権の不当な制限、州で異なる規制の技術的負担

各国のSNS規制(5) 米国フロリダ州
知事の拒否により修正して成立

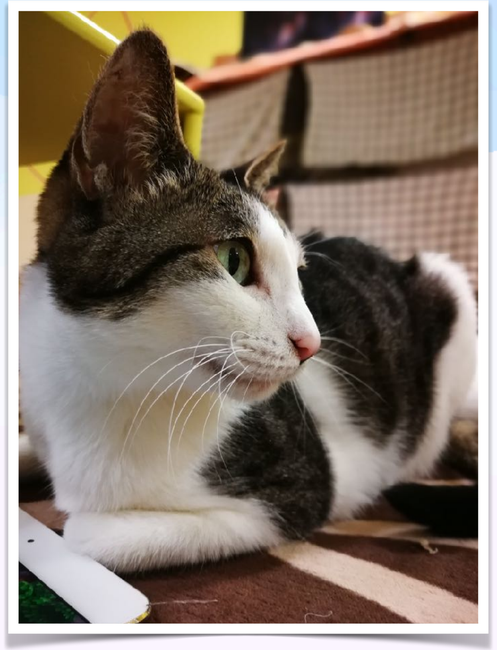


- 2024年成立。14歳未満のSNS禁止、14,15歳は保護者同意
  - 保護者の権利を尊重することで成立
- 中毒性のある機能を持つプラットフォームが対象
- 独立した第三者機関による匿名年齢確認システム、違反アカウント削除義務
- 若者のメンタルヘルスの悪化、犯罪者がこどもに接触する懸念
- 年齢確認、VPNによる回避など技術的課題、親の権利、表現の自由問題

各国のSNS規制(6) 韓国

直接的な規制ではなく、周辺の法整備で対応

- 一律の年齢規制よりも具体的リスクへの法整備
  - 性暴力犯罪の処罰、青少年の性保護、ディープフェイク対策
- ゲームシャットダウン制(16歳未満)は廃止 → 保護者の判断重視
- 主要プラットフォーム事業者の法令遵守状況を点検
- n番部屋事件
- こども自身の権利擁護、能力育成、国外プラットフォームへの実効性の確保



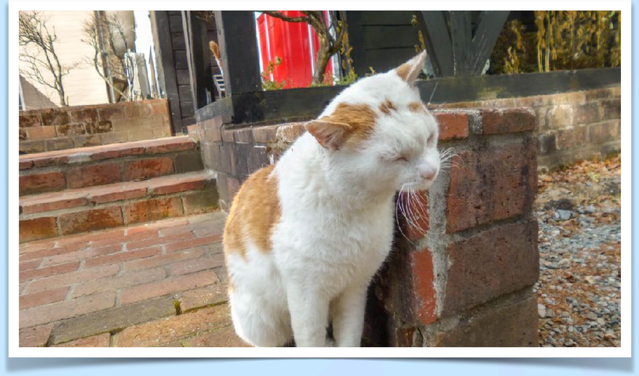
国際的な動向
スタンダード化の目論見？

- EU Digital Services Act
- Global Online Safety Regulators Network
  - Ofcom, eSafety Commissioner, Arcom などが加盟
  - Online Safety規制当局間の協力を支援するフォーラム
- OECD, UNICEF
  - 子どもの権利、安全、オンライン保護などへの提言

比較と考察

比較 (表)

いくつかの軸でまとめてみました



国・地域	制限内容	対象年齢	保護者同意	罰則
オーストラリア	アカウント利用禁止	16未満	なし	最大5,000万A$
フランス	アカウント利用保護	15未満	必須	€2,000万 or 年間売上4%
イギリス	年齢制限・有害規制	年齢確認必須	—	£1,800万 or 年間売上10%
米ユタ州	プライバシー・ペアレンタルコントロール	18未満	必須	$2,500/件
米フロリダ州	14歳未満禁止/同意付与	14未満/14,15歳	なし/必須	$50,000/件

各国での論点

実施まではまだハードルがありそうです

- 青少年保護 vs. 表現の自由・情報アクセス権
- 規制による効果の評価
  - 過度な規制によるリスク
- 技術的課題: 年齢確認、プライバシー保護、VPNなどでの規制回避
  - 技術進化への追従
- 社会的課題: 権利保障、国際協調

今後の展望
我々はどう対応していくのか？

- 各国がどのように規制と権利のバランスを取るか
  - 行政、プラットフォーム、保護者の協働
  - こども自身のデジタルリテラシー育成
- 規制が施行されたら効果が出るか、継続的に評価と見直し
- 技術的課題をどのようにクリアするか
- 国際的な知見の共有

まとめ
現在進行系の話です

- 青少年に対するSNSなどの規制は導入の動きが強まっている
  - 事件や情勢の変化を受けてのもの
- 権利と保護のバランスが各国で議論されている
- 技術的な課題も多い

- Any Comments?

写真提供: たにぃさん @tanyorg

議論したい点

広すぎるので、今日はこのあたりに絞って…

- 子供への悪意に対して、我々(個人)、事業者として何ができるのか？
- 誘導と広告は何が違うのか？
  - 何をどこまで規制できる？ していいの？
- 子供だけの規制でよいのか？
  - 中毒的なUI、ダークパターン、DeepFake など GAI の規制？
- 日本の法規制はどうなるか？

議論したい点

広すぎるので、今日はこのあたりに絞って…

- 他にモヤモヤしていることがある人います？
  - 何がSNSなのか？ オンラインゲームもSNSですよね
  - 年齢や保護者はどうやって確認するのか？ 本当にできるの？
  - コストは誰が負担するの？ 法律作って事業者負担でやらせるの？